



**飛躍への挑戦！**  
**高知県産業振興計画**

**第3期仁淀川地域アクションプランの進捗状況等について**  
**平成30年度地域アクションプランの修正項目（案）**

仁 淀 川 地 域 本 部

平成30年9月3日（月）



## 仁淀川地域アクションプランの進捗状況等

H 3 0 . 9 . 3  
仁淀川地域本部

### 1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

#### (1) 総評

全 37 のプランについて、実行支援チームを編成、事業推進に向けた協議と進捗管理を実施し、それぞれの地域アクションプランに掲げた目標の達成を目指して取組を進めている。

事業のさらなるステップアップや課題を抱えている案件については、人材育成の講座への誘導、アドバイザーの派遣、各種補助金の活用など、案件に応じた支援事業を導入し、関係機関と連携した具体的なサポートを実施している。

特に、産振総合補助金を活用して整備した日高村の直販所「村の駅ひだか」については、平成 26 年度の開店以降の集客数が 4 月には 70 万人を突破し、売上についても、平成 31 年度目標の 2 億円を平成 29 年度中に達成するなど好調である。引き続き、集荷体制の整備や商品の品揃えや加工品の開発など、さらなる売上を目指すとともに、観光案内所機能の充実を図り、体験観光客の誘客においても取組を進めている。

農業分野では、平成 28 年度末に産振総合補助金を活用して(有)吉本乳業の牛乳製造設備の機能強化を行い、衛生管理の徹底を図るとともに販路拡大に取り組んでいる。また、(株)フードプランにおいても、産振総合補助金を活用して平成 29 年度に整備した新工場が本格稼働するとともに、関係者と連携した事業展開を検討するなど、増加するカット野菜の取引需要に対応しうる生産体制の強化と地域産業クラスターの形成に向けた取組を進めている。

林業分野では、平成 28 年 4 月に完成した大型製材工場の原木利用量が増加しており、引き続き、稼働率の向上、製品流通の拡大に継続して取り組むとともに、原木増産と安定確保に向けて管内市町村及び森林組合との協議を進めるなど、地域の関係者とともに林業・木材産業の振興を図っている。

水産業分野では、企業組合宇佐もん工房において、産振総合補助金を活用し加工施設の拡張整備を行ったことで、衛生管理の高度化や生産性の向上が実現した。これらを基盤に、うるめいわしと他魚種の鮮魚及び加工品のさらなる販路拡大に取り組んでおり、さらには水産業クラスターにおけるウルメ産業の振興の担い手としても大きな役割を果たす一員として、積極的に活動している。

観光分野では、越知町がアウトドアの拠点施設となるキャンプ場の整備を町内 2 ヶ所で進めており、平成 30 年 4 月に日ノ瀬エリアでオープンした「スノーピークおち仁淀川キャンプフィールド」では、県外からも多くの利用者が訪れている。また、平成 29 年度から新たに地域アクションプランに追加された、酔鯨酒造(株)の新工場を核とした観光振興の取組においては、インバウンドによる集客も視野に入れた計画を進めており、今秋からの施設見学受入実施に向けて、現在、醸造棟の整備を実施している。

「志国高知 幕末維新博」の地域会場である紙の博物館及び青山文庫（歴史資源）では、第二幕の開幕以降も入館者は堅調に推移しており、さらなる集客に向けて、「観光クラスター整備計画」に基づく周遊促進の取組や観光情報の発信をこれまで以上に幅広く、またきめ細かに実践し、将来にわたり全国からの誘客を図りうる観光地づくりを進めている。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.2 薬用作物の産地拡大による所得の向上(仁淀川町、佐川町、越知町、日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・農事組合法人ヒューマンライフ土佐</p>	<p>[目標]</p> <p>○薬用作物の作付面積(ヒューマンライフ土佐)</p> <p>ミシマサイコ H27実績:55ha → H29目標:56ha(実績:49ha) → H30目標:56ha → H31目標:70ha</p> <p>サンショウ H27実績:73ha → H29目標:70ha(実績:65ha) → H30目標:70ha → H31目標:80ha</p> <p>ダイダイ H27実績:28ha → H29目標:30ha(実績:27ha) → H30目標:30ha → H31目標:30ha</p> <p>[取組状況]</p> <p>○薬用作物の作付面積(ヒューマンライフ土佐 9月末見込)</p> <p>ミシマサイコ:51ha サンショウ:63ha ダイダイ:26ha</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域おこし協力隊による栽培支援(4月～)</li> <li>・ミシマサイコ被覆資材処理試験発芽状況調査(6回)</li> <li>・ミシマサイコ2年株専用品種調査圃場設置(6/1)及び試験処理(3回)</li> <li>・ヒューマンライフ土佐総会(6/4)</li> <li>・ヒューマンライフ土佐に薬用作物専門指導員1名(県委託事業)を29年度から引き続き配置(4/1～)</li> <li>・サンショウ・ダイダイ栽培講習会(6/21)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミシマサイコ2年株専用品種への移行 ⇒現地実証圃等を利用した2年株専用品種の栽培技術確立</li> <li>・ミシマサイコの発芽促進 ⇒発芽不良圃場における被覆資材処理効果の検証</li> </ul>
<p>■NO.6 生姜の増産と加工品の生産拡大(土佐市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株)前川博之商店</p>	<p>[目標]</p> <p>○生姜加工品の販売額(園芸年度:10月～9月)</p> <p>H26実績:40,946千円 → H29目標:80,000千円(実績:46,633千円) → H30目標:100,000千円 → H31目標:200,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○生姜加工品の販売額(H29.10月～H30.9月見込): 51,295千円(前年同期比110.0%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産農家との打合せ会</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生協関係者との現地検討会</li> <li>・商談会への参加</li> <li>・生姜加工の取組に関する協議（4回） 食品ビジネスまるごと応援事業の活用による生姜加工商品のパッケージ等の改良に向けた協議など</li> <li>・HACCP 研修への参加</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工用原料の安定確保 ⇒生姜栽培面積の拡大に向けて生産者勉強会等を実施 ⇒農業生産法人よさこいファーム（自社）と幡多地域の農業者との連携した栽培・原料買い上げ拡大を検討</li> </ul>
<p>■NO.7 いの町での生姜等加工品製造施設の整備と販売促進（いの町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西村青果(株)</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（いの町生姜生産・販売拡大プロジェクト）</p>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生姜等加工品の販売額（10～9月） H26実績：3.4億円→H29目標：4.0億円（実績：4.6億円） →H30目標：4.0億円→H31目標：4.0億円</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生姜等加工品の販売額（H29.10月～H30.6月末）： 3.45億円（前年同期比 89.3%）</li> <li>・町内取引農家との打合せ：49回</li> <li>・いの町内生姜生産農家からの加工品用生姜仕入高（H29.10月～H30.6月末）：147.3t（前年同期比 116%）</li> <li>・平成30年度第1回クラスタープラン検討会議開催(5/28)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産体制の維持及び販売強化 ⇒大手食品会社等の取引先との連携強化 ⇒工場既存設備の計画的な更新 ⇒県版 HACCP 第2ステージ取得に向けた取組（PRP 研修及び HACCP 研修の受講）</li> <li>・原材料となる生姜の安定的な調達 ⇒生姜生産農家及び高知県園芸連との信頼関係の維持による取引の継続</li> </ul>
<p>■No.8 本川きじの販路拡大（いの町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本川手箱きじ生産企業組合</li> <li>・いの町</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○販売額 H26 実績：4,913千円 → H29 目標：12,400千円（実績 14,919千円） → H30 目標：12,990千円 → H31 目標：13,580千円</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○販売額(7月末)：4,527千円（前年同期比 103.6%）</li> <li>○販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県産品商談会への参加（5/29）</li> </ul> </li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般消費者向けの広報ツール作成に向けたステップアップ補助金の活用（8/20 交付決定）</li> </ul> <p>○広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内 PR イベントへの参加：3 回</li> <li>・高知食 1 グランプリへの参加：10 位／45 品</li> </ul> <p>○人材の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いの町の地域おこし協力隊へのきじの飼育方法の教育を実施（4 月～）</li> </ul> <p>○施設改修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度の施設改修に向けた大川村のはちきん地鶏の食鳥処理施設の視察（6 月）</li> <li>・関係者協議の実施（6 月）</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利益率の高い一般消費者向け商品の販売促進 ⇒県内イベント・県外での商談会における営業活動</li> <li>・衛生管理体制の確立 ⇒県版 HACCP 第 3 ステージの認証取得に係る加工場等の改修に向けた資金計画の検討 ⇒大川村のはちきん地鶏の食鳥処理場の視察に基づき、具体的な計画について関係者と協議が必要</li> <li>・運営体制の強化 ⇒定例会を活用した連携体制の強化</li> </ul>
<p>■NO. 10 日高村まるごとブランド化（日高村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日高村</li> <li>・J A コスモス</li> <li>・(株) コスモスアグリサポート</li> <li>・(株) イチネンホールディングス</li> <li>・日高村商工会</li> <li>・特定非営利活動法人日高わのわ会</li> <li>・農事組合法人霧山茶業組合</li> <li>・(株) 村の駅ひだか</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（日高村トマト産地拡大プロジェクト）</p>	<p>[目標]</p> <p>○農産物等の販売額</p> <p>H26 実績：4.3 億円</p> <p>→ H29 目標：4.3 億円（実績：4.5 億円）</p> <p>→ H30 目標：4.3 億円 → H31 目標：4.5 億円</p> <p>○「オムライス街道」によるオムライス販売数</p> <p>H27 実績：66,200 食</p> <p>→ H29 目標：67,000 食（実績：82,905 食）</p> <p>→ H30 目標：70,000 食 → H31 目標：100,000 食</p> <p>○商品・加工品開発件数（H28～31 累計）</p> <p>H27 実績：0 件 → H29 目標：7 件（実績：9 件）</p> <p>→ H30 目標：10 件 → H31 目標：10 件</p> <p>○県外からの移住者数（H28～31 累計）</p> <p>H27 実績：2 組 → H29 目標：4 組（実績：7 組）</p> <p>→ H30 年目標：10 組 → H31 年目標：10 組</p> <p>○新規就農者数</p> <p>H27 実績：2 名 → H29 目標：9 名（実績：11 名）</p> <p>→ H30 目標：10 名 → H31 目標：10 名</p>

#### [取組状況]

- 農産物等の販売額(9月末見込):2.02億円(前年比110%)
- 「オムライス街道」によるオムライス販売数(9月末見込):42,745食(前年比94%)
- 商品・加工品開発件数(H28~H30.9累計(見込)):15件
- 県外からの移住者数(H28~H30.9累計(見込)):8組
- 新規就農者数(H28~H30.9累計(見込)):11名
- クラスタープラン:日高村トマト産地拡大プロジェクトの取組推進
  - ・高知県よろず支援拠点コーディネーターのアドバイスにより、わのわ会トマトソース製造工程の省力化に向けた取組を実施
  - ・日高まるごとイタリアンプロジェクトの実施計画策定に向けたステップアップ補助金の活用(8/28交付決定)
  - ・オムライス街道スタンプラリー第5弾キックオフイベントを実施(6/12)
  - ・オムライス街道スタンプラリー第5弾スタート(H30.6/12~H31.3/31)
  - ・日高村絵本コンクール(テーマ:オムライス)最優秀作品の絵本製作、販売による情報発信(7/12販売スタート)

#### [課題と今後の対応]

- ・日高村アグリネットワークの連携強化  
⇒日高村アグリネットワーク会議の開催
- ・日高村及び日高村農産物の知名度の向上  
⇒販促活動や日高まるごとイタリアンプロジェクトの推進により日高村の知名度やブランド力の向上とイメージアップを図る
- ・新たな特産品やトマトを活かした加工品の開発  
⇒クラスタープランの推進による新たな商品や加工品の開発
- ・雇用及び移住者の増  
⇒新規参入企業(㈱イチネンホールディングス)による雇用増

■No. 11 仁淀川流域における林業・木材産業の振興（仁淀川地域全域）

《事業主体》

- ・森林組合
- ・林業事業者
- ・素材生産業者
- ・製材業者
- ・自伐林家等

[目標]

○原木生産量

H26 実績：8.0 万 m<sup>3</sup>

→ H29 目標：10.0 万 m<sup>3</sup>（実績：9.3 万 m<sup>3</sup>）

→ H30 目標：11.0 万 m<sup>3</sup> → H31 目標：12.0 万 m<sup>3</sup>

○池川木材工業(有)原木利用量

H26 実績：1.7 万 m<sup>3</sup>

→ H29 目標：3.0 万 m<sup>3</sup>（実績：2.6 万 m<sup>3</sup>）

→ H30 目標：3.5 万 m<sup>3</sup> → H31 目標：5.0 万 m<sup>3</sup>

[取組状況]

○原木生産量（6月末）：2.6 万 m<sup>3</sup>（前年同期比 132%）

○池川木材工業(有)原木利用量（6月末）：0.8 万 m<sup>3</sup>

（前年同期比 123%）

○施業地の集約化及び原木生産の推進

・市町村・事業者等林業関係担当者会の開催（5/11）

・増産に向けた事業者への聞き取り調査

（13 事業者 4/4～5/11、6/25～7/24）

・森の工場事業者個別ヒアリング（13 事業者 6/1・6・11）

・仁淀川流域管理システムの構築及び生産性向上に向けた打ち合わせ（仁淀川町 3 回）

・管内森林組合の事業進捗管理及び経営指導

（高知中央森組 4 回、仁淀川森組 4 回）

・中央西地区路網整備促進会議（6/26）

・市町村路網整備 WG（2 回）

○林業事業者、人材の育成

・森林組合の作業システム改善指導

（高知中央森組 4 回、仁淀川森組 4 回）

○大型製材工場の稼働率向上

・大型製材工場の進捗管理及び指導（5 回）

[課題と今後の対応]

・正確な森林資源情報の早期把握と増産に向けた更なる施業地の確保

⇒市町村との連携による森林情報の収集・提供、路網整備の促進

・森林組合の経営改善

⇒関係各課と林業事務所で構成される支援チームによる経営及び技術指導の実施

・森林管理及び川上・川下の木材需給調整を担うシステム及び組織（仮称：森林管理センター）の構築と人材の確保

⇒仁淀川森林管理推進協議会及び高吾北地域原木安定供給協議会との連携



	<p>林業成長産業化地域創出モデル事業の活用による組織づくり及び人材育成</p> <p>森林資源情報システムの構築及び施業地の集約化の促進</p>
<p>■No. 12 地域性の高い特用林産物の生産拡大 (仁淀川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・特用林産物生産団体</p>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○シキミ・サカキ生産量 H27 実績：19.0t → H29 目標：19.5t (実績：18.8t) → H30 目標：20.0t → H31 目標：21.0t</p> <p>○マッシュルーム出荷量 H26 実績：14.3t → H29 目標：14.0t (実績：12.4t) → H30 目標：14.0t → H31 目標：22.0t</p> <p>○原木マイタケ生産量 H27 実績：0.1t → H29 目標：0.26t (実績：0.22t) → H30 目標：0.26t → H31 目標：0.6t</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○シキミ・サカキ生産量 (6月末)：1.5t (前年同期比 49%)</p> <p>○マッシュルーム出荷量 (6月末)：2.6t (前年同期比 68%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特用林産推進チーム会 (高知市 2 回)</li> </ul> <p>○シキミ・サカキ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導に係る情報収集 (仁淀川町 2 回、いの町 1 回)</li> <li>・生産者への現地指導 (仁淀川町 15 回、佐川町 3 回)</li> <li>・見本林整備 JA 打合せ (3 回)</li> </ul> <p>○マッシュルーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導に係る情報収集 (5 回)</li> </ul> <p>○原木マイタケ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町、支援企画員との打合せ (2 回)</li> <li>・氷室の里定期総会 (1 回)</li> <li>・氷室の里への現地指導 (2 回)</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仁淀川町長者だんだんの里等へ特用林産栽培指導 (3 回)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>○シキミ・サカキ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者の高齢化による生産意欲の減少 ⇒意欲ある生産者への支援強化</li> <li>・栽培技術の向上 ⇒森林技術センター等と連携した病虫害防除、高齢株の台切り、剪定等の栽培技術指導</li> </ul> <p>○マッシュルーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マッシュルームの品種改変に伴う栽培技術の向上</li> <li>・害虫防除対策 ⇒森林技術センター等と連携した技術指導の継続</li> </ul>

	<p>○原木マイタケ等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4品目（マイタケ、アラゲキクラゲ、ハタケシメジ、ナメコ）の複合栽培による安定的な収益の確保</li> <li>・集荷、出荷体制の整備等 ⇒森林技術センター等と連携した植菌・培養等の技術指導の継続</li> </ul>
<p>■No.13 自伐型林業を核とした産業づくりと地域の活性化（佐川町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐川町</li> <li>・自伐型林業に取り組む個人・団体</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（佐川町で展開する自伐型林業での木材産業クラスター）</p>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○林業関連新規就業者数 H27実績：5人 → H29目標：12人（実績：10人） → H30目標：18人 → H31目標：24人（H28～31累計）</li> <li>○山林の集約化面積 H27実績：0ha → H29目標：200ha（実績：112ha） → H30目標：300ha → H31目標：400ha（H28～31累計）</li> <li>○ものづくりと連携した起業家 H27実績：0人 → H29目標：－ → H30目標：－ → H31目標：3人（H28～31累計）</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○林業関連新規就業者数（9月末見込累計）：12人</li> <li>○山林の集約化面積（7月末累計）：112ha <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域おこし協力隊採用6人（自伐型林業2人、ものづくり関連4人）</li> <li>・地域おこし協力隊任期満了者、地域おこし協力隊による任意団体への高密度森林作業道の整備委託（6/18～）（林業成長産業化地域創出モデル事業の一環として、佐川町が実施）</li> <li>・県外視察：町産材を活用した加工品製造に向けての視察（7/26～7/28）</li> <li>・佐川町自伐型林業研修の開催（9/8～9/9、9/22～9/23 予定）</li> </ul> </li> <li>○さかわ発明ラボ <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後発明クラブ開催（毎週木曜日）</li> <li>・町産材を活用したWSの開催2回（5/27、8/19）</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山林の集約化 ⇒土地所有者へのアンケート調査結果をもとに、佐川町森林長期施業管理契約締結の推進</li> <li>・自伐型林業のビジネスモデルづくり ⇒地域おこし協力隊の採用・育成と自立化、自伐型林業者による組織設立に向けた検討</li> <li>・さかわ発明ラボの運営体制の確立 ⇒運営体制構築の検討、法人設立に向けた検討</li> </ul>

<p>■No. 14 宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化（土佐市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業組合宇佐もん工房</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（宇佐・浦ノ内地区水産資源活用クラスタープロジェクト）</p>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○うるめ商品の販売額</p> <p>H26実績：61,550千円 → H29目標：100,000千円 （実績：77,785千円） → H30目標：90,000千円 → H31目標：100,000千円</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○うるめ商品の販売額（9月末見込）：43,539千円 （前年同期比 100.1%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一本釣りうるめ祭りの開催（5/13～5/31）：12店舗参加</li> <li>・イメージキャラクター「うるめもん」を活用した「うるめマップ（土佐市内のうるめ料理提供飲食店8店舗の紹介）」でのシールラリーの実施</li> <li>・新商品の販売開始（サバ・タイの漬け丼）</li> <li>・売上向上に向けた協議</li> <li>・商談会、イベントへの出展</li> <li>・ギフト用詰合せ商品の販売（酒類とのセット商品等）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原材料の安定確保 ⇒漁協や漁師との連携による原材料の調達力強化</li> <li>・販路拡大及び販売促進 ⇒県版 HACCP 第2ステージ認証のH30年度中の取得に向け、社内に HACCP チームを編成し取組を推進 ⇒「宇佐の一本釣りうるめ」の認知度向上に向け、「一本釣りうるめ祭り」、「うるめいわしシールラリー」を継続して開催</li> <li>・うるめ不漁時の加工場の稼働率向上 ⇒他魚種（サバ・アジ・タイ等）の一次加工処理及び新商品開発による売上確保</li> </ul>
<p>■No. 16 「土佐和紙」の販売促進と保存・継承（土佐市、いの町、仁淀川町、日高村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手すき和紙協同組合</li> <li>・高知県製紙工業会</li> <li>・いの町紙の博物館</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○土佐和紙の販売額</p> <p>H26実績：4.8億円（機械すき4.4億、手すき0.4億） →H29目標：4.8億円（機械すき4.4億、手すき0.4億） （実績：4.6億円（機械すき4.14億、手すき0.46億）） →H30目標：4.8億円（機械すき4.4億、手すき0.4億） →H31目標：4.8億円（機械すき4.4億、手すき0.4億）</p> <p>○手すき和紙協同組合加入の事業体</p> <p>H27 実績：31 事業体→H29 目標：20 事業体（実績 18 事業体） →H30 目標：18 事業体→H31 目標：31 事業体</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○手すき和紙協同組合加入の事業体（7月末）：18 事業体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙の博物館入館者数（6月末）：6千人（前年同期比 107%）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐和紙関係者意見交換会の開催準備</li> <li>・紙の博物館内における各種体験メニューの提供 (5/3～5/5) 利用者数：計 373 人</li> <li>・夜の紙博実施に向けた打ち合わせ：2 回</li> <li>・ANEX(不織布展示会 6/6～6/8)での土佐和紙展示 PR (製紙工業会)</li> <li>・高知県伝統工芸品産業等後継者育成対策事業費補助金活用による短期後継者育成 (4 月:1 名、いの町)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙の博物館への集客及び土佐和紙商品の販路拡大 ⇒職人・生産者の顔の見える売り場づくり</li> <li>・紙の博物館へ寄贈された紙漉き道具活用の検討 ⇒道具の状態確認及び保管台帳の作成、修繕対応可能な道具職人の有無についての確認</li> </ul>
<p>■No. 18 いの町中心市街地の活性化 (いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いの町</li> <li>・いの町商工会</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(いの町生姜生産・販売拡大プロジェクト)</p>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○中心市街地での事業所の新規開業 (H28～31 累計) H26 実績：2 事業者 →H29 目標：2 事業所 (実績：3 事業所) →H30 目標：2 事業所→H31 目標：8 事業所</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○中心市街地での事業所の新規開業 (9 月末見込)： 3 事業所 (トリミング店、司法書士、雑貨屋)</li> <li>○中心市街地活性化事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・いの町内製紙関係者への事業説明 (4/23) 中心市街地の住民・商店街事業者等への事業説明 (4/25、4/26)</li> <li>・拠点施設 (いの町元町仮倉庫) 改修整備 水量調査 (6 月)、基本設計プロポーザル (6 月)</li> <li>・事業案について関係者間協議(5 月末時点：10 回)</li> <li>・土佐和紙職人育成施設の改修案の見直し決定 (7 月)</li> <li>・事業計画策定に向けて協議会を設立・第 1 回協議会を開催 (8/13) 全 3 回開催予定</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地活性化事業実施に向けた商店街事業者や住民を巻き込んだ体制づくり ⇒中心市街地活性化事業の実施に向けた関係各所との協議体である「中心市街地活性化協議会」において、中心市街地活性化計画を策定 計画に基づく振興策の実施</li> <li>・空き店舗の活用 ⇒空き店舗家賃補助事業の実施</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生姜焼き街道・生姜スイーツの取組のPR・周知</li> <li>⇒イベントに付随した取組の検討など、商工会、観光協会等関係各所との連携によりさらにPR・周知を強化</li> </ul>
<p>■No. 19 地域産品を活用した冷菓等の製造販売（いの町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（有）高知アイス</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○冷菓等の販売額（1～12月）</li> <li>H26実績：3.75億円</li> <li>→ H29目標：4.32億円（実績：4.75億円）</li> <li>→ H30目標：5億円 → H31目標：5.3億円</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○冷菓等の販売額</li> <li>（1～6月）：1.98億円（前年同期比95.2%）</li> <li>（内訳）</li> <li>海外（卸・催事）販売額（1～6月）：0.37億円 （前年同期比212.2%）</li> <li>国内販売額（1～6月）：1.47億円 （前年同期比83.5%）</li> <li>売店販売額（街カフェ売上含む）（1～6月）：0.14億円 （前年同期比96.4%）</li> <li>・県外、海外（台湾、ハワイ、タイ、シンガポール等）での商談会、プロモーション活動（6月末時点）：6回</li> <li>・新商品発売（モナカアイス3種）</li> <li>・海外（台湾）新規取引：1件</li> <li>・JETROの専門家海外同行事業を活用した海外の販路開拓</li> <li>・中小機構の支援事業を活用し、海外向け（英語）HP製作</li> <li>・県版HACCP第2ステージ取得への取組（フロマージュ）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外での販路拡大及び新商品の開発、販売</li> <li>⇒関西圏及び名古屋の販路開拓</li> <li>⇒香港・シンガポールの市場拡大と他のアジアの国々やアメリカを中心とした市場開拓</li> <li>⇒TV、新聞等での広報・宣伝活動</li> <li>⇒県産の原料を使用したドリンクの新商品開発検討</li> </ul>
<p>■No. 20（株）フードプランのカット野菜事業等の展開による雇用の確保と販売拡大（仁淀川町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（株）フードプラン</li> <li>・仁淀川町</li> <li>・庭先集荷の農家</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○（株）フードプランの販売額</li> <li>H26実績：4.4億円</li> <li>→ H29目標：6.0億円（実績：6.2億円）</li> <li>→ H30目標：6.3億円 → H31目標：6.4億円</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○（株）フードプランの販売額</li> <li>（H29.10～H30.7月）：5.5億円（前年同期比109%）</li> </ul>

<p>※地域産業クラスター関連（株式会社フードプラン、仁淀川町等を中心としたカット野菜事業クラスター）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H29 年度産振総合補助金を活用し新工場及び旧工場改修（4/5 竣工）</li> <li>・ドレッシングの商品化に向けた品質検査を実施（検査終了後に製造・販売予定）</li> <li>・事業戦略の策定に向けた関係機関との調整（7/3、7/24）→10 月策定予定</li> <li>・クラスタープランにおけるプロジェクト推進部会の開催（6/7、7/10）</li> <li>・県版 HACCP（第 3 ステージ）の認証取得に向けた申請準備</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・増加する取引需要への対応 ⇒関係者協議での進捗管理等により、新工場の円滑な運営および販売戦略推進を支援</li> <li>・県内産野菜確保の仕組みづくり ⇒町内を中心とした野菜生産の仕組みの構築に向けた検討（町内耕作放棄地を活用した新規営農等を視野に関係者協議を継続開催）</li> </ul>
<p>■No. 21 仁淀川町における茶を中心とした農産物の 6 次産業化推進（仁淀川町）</p> <p>≪事業主体≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仁淀川町</li> <li>・(株)ビバ沢渡</li> <li>・町内の 6 次産業化に取り組む事業者</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○主要事業者の販売額 H27 実績：50,000 千円 → H29 目標：55,000 千円（実績：64,332 千円） → H30 目標：75,000 千円 → H31 目標：95,000 千円</li> <li>○うち(株)ビバ沢渡の販売額 H27 実績：20,000 千円 → H29 目標：22,000 千円（実績：29,126 千円） → H30 目標：56,000 千円 → H31 目標：57,163 千円</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○主要事業者の販売額（2～6 月）：37,300 千円 (前年比 150%)</li> <li>うち(株)ビバ沢渡の販売額（2～6 月）：24,254 千円 (前年比 172%)</li> <li>○販促活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・village kochi への出店（(株)ビバ沢渡 5/19、20）</li> <li>・第 3 回「生活の楽しみ展」への出展（東京） (トレトレ(株)6/7～11)</li> <li>・料亭濱長での沢渡茶フェア（(株)ビバ沢渡 6/10～7/16）</li> <li>・仁淀川流域の茶販促イベント（愛媛県）（池川茶園 6/30）</li> </ul> </li> <li>○商品開発、販売促進等による経営の持続安定化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規店舗の出店に向けた準備（(株)ビバ沢渡）</li> </ul> </li> </ul>

	<p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)ビバ沢渡の販売拡大 ⇒円滑な拠点運営及び経営戦略の推進</li> </ul>
<p>■No. 22 地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進（佐川町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐川町</li> <li>・JA コスモス</li> <li>・地元農家</li> <li>・地元酪農家</li> <li>・佐川町商工会</li> <li>・地元商工業者</li> <li>・(有)吉本乳業</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○牛乳類商品販売額 H27実績：1.27億円 → H29目標：1.33億円（実績1.22億円） → H30目標：1.45億円 → H31目標：1.57億円</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○牛乳類商品販売額（H30.6月末）：26,778千円 (前年比 89.7%)</li> <li>・さかわの地乳プロジェクト推進会議の開催：4回 (5/1、6/20、7/27、8/23)</li> <li>・高知県産品商談会への参加 (有)吉本乳業及び横皇冷菓、5/29)</li> <li>・「仁淀ブルーライド」での地乳PR（6/3）</li> <li>・一般衛生管理勉強会への参加（有)吉本乳業、8/3)</li> <li>・商品開発に関する協議：3回</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地乳のブランド力向上 ⇒地乳プロジェクト推進会議の事業内容の検討、学校教育との連携による新商品開発</li> <li>・地乳の販路拡大 ⇒四国・関西圏を中心とした県外量販店との取引拡大、さらなるブランド化に向けた情報発信、おいしさの維持、産地の見える製品づくり</li> <li>・衛生管理体制の強化 ⇒県版 HACCP 第2ステージ（認証取得済）に基づく衛生管理手順の遵守及び第3ステージの認証取得に向けた社内体制の構築</li> </ul>
<p>■No. 23 柑橘類等地域の農産物を活用した加工品の生産と販売拡大（越知町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)岡林農園</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○岡林農園の販売額 H26実績：1.4億円 → H29目標：1.95億円（実績：2.11億円） → H30目標：1.82億円 → H31目標：1.8億円</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○岡林農園の販売額（H29.9～H30.7月）： 1.76億円（前年同期比 88.4%）</li> <li>・Food&amp;HotelAsia2018（シンガポール）への参加 (4/24～4/27)</li> <li>・高知県産品商談会への参加（5/29）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グッドフード&amp;ワインショー（シドニー）への参加 (6/22～6/24)</li> <li>・酒フェスティバルへの参加（6/21）</li> <li>・居酒屋産業展への参加（8/28～8/30）</li> <li>・名古屋フードビジネスショーへの参加予定（9/19～9/20）</li> <li>・5S 推進による体質改善（通年）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織及び経営基盤の強化 ⇒業務用及び海外部門の販売拡大や 5S、県版 HACCP（第 3 ステージ）取得の推進継続</li> <li>・人材（管理職等）の確保 ⇒大学等の就職説明会への参加 ⇒就職・移住相談会への参加</li> </ul>
<p>■No. 24 ネコ砂（木質系排泄物処理剤）の生産・販売促進（日高村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)エスエス</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ネコ砂（木質系排泄物処理剤）の販売額 H26 実績：46,760 千円 → H29 目標：70,000 千円（実績：62,257 千円） → H30 目標：70,000 千円 → H31 目標：90,000 千円</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ネコ砂（木質系排泄物処理剤）の販売額 (H29.9～H30.8 月末見込)：68,037 千円 (前年同期比 109.3%)</li> <li>○ネコ砂（木質系排泄物処理剤）の安定的な製造 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日産 550 ケース、月産 13,000 ケースを製造</li> </ul> </li> <li>○新商品の開発・販売のサポート <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹粉を活用した自社新商品の開発を検討</li> <li>・製紙スラッジを使用した製品の試験的な製造、販売を開始</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネコ砂の安定的な生産体制の構築 ⇒OEM 先のアース・ペット(株)との連携強化 ⇒原材料（オガ粉）の安定調達に向け、調達先との原料取引の継続と新たな調達先の確保</li> <li>・原材料（オガ粉）の供給量不足への対応 ⇒オガ粉に代わる原材料として、製紙スラッジを使用したシステムトイレ対応ネコ砂の本格的な製造、販売</li> </ul>
<p>■No. 25 「村の駅ひだか」を拠点とした交流人口の拡大と地域の活性化（日高村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日高村</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○直販市の販売額 H26 実績：104,382 千円 → H29 目標：200,000 千円（実績：232,191 千円） → H30 目標：220,000 千円 → H31 目標：200,000 千円</li> </ul>



<p>・(株)村の駅ひだか</p> <p>※地域産業クラスター関連（日高村トマト産地拡大プロジェクト）</p>	<p>○フットパス等体験観光客数 H26実績：241人 → H29目標：300人（実績：192人） → H30目標：300人 → H31目標：400人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○直販市の販売額（9月末見込）：114,167千円 （前年同期比97%）</p> <p>○フットパス等体験観光客数（9月末見込）：72人 （前年同期比81%）</p> <p>・来客者数（レジ通過）（9月末見込）：103,879人 （前年同期比97%）</p> <p>・H26.11月オープン以降の来客者数（レジ通過） ▶4/27：70万人突破</p> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>・直販市の機能強化及び観光情報の発信 ⇒商品の集荷体制の確立 ⇒特産品生産者の高齢化に伴う後継者づくり ⇒観光案内所機能の充実 （村の駅駐車場内に新たに案内所を整備し、駅内に現存する対応スペースの移設を予定）</p>
<p>■No.26 「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進（仁淀川地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(一社)仁淀ブルー観光協議会</p> <p>・土佐市</p> <p>・いの町</p> <p>・仁淀川町</p> <p>・佐川町</p> <p>・越知町</p> <p>・日高村</p> <p>・(一社)いの町観光協会</p> <p>・仁淀川町観光協会</p> <p>・(一社)さかわ観光協会</p> <p>・越知町観光協会</p>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○仁淀ブルー観光協議会関連のツアー送客数 H26実績：4,153人 → H29目標：4,884人（実績：5,023人） → H30目標：5,421人 → H31目標：5,500人</p> <p>○主要宿泊施設の宿泊者数 H26実績：65,410人 → H29目標：69,414人（実績：37,002人※） → H30目標：70,802人 → H31目標：72,000人 ※H29年度休業等施設を除く前年比101%</p> <p>○主要観光施設の入込客数 H26実績：216,458人 → H29目標：250,577人（実績：240,482人） → H30目標：263,106人 → H31目標：276,000人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○仁淀ブルー観光協議会関連のツアー送客数（7月末） ：2,490人（前年同期比143%）</p> <p>○主要宿泊施設の宿泊者数（7月末速報値）：11,575人 （前年同期比98%）</p> <p>○主要観光施設の入込客数（7月末速報値）：82,049人 （前年同期比103%）</p> <p>・ホームページ、SNS等による情報発信</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行エージェントに対するセールス活動（7月末）： 訪問 135 社（首都圏、中部、関西、中国、四国、九州）、 商談会 98 社（名古屋、広島、岡山、高知、福岡）</li> <li>・県内外の集客施設等と連携した物産観光 P R（7月末）： 2 回（東京、愛媛）</li> <li>・クルーズ船物産観光 P R（7月末）：6 回</li> <li>・仁淀ブルーメールマガジンの配信（7月末）：17 本</li> <li>・仁淀ブルー観光協議会総会等の開催</li> <li>・「仁淀ブルーDM0」観光戦略実行ワーキングの開催</li> <li>・JR トロッキ列車「志国高知 幕末維新号」との連携（列車内ガイドの実施など）</li> <li>・仁淀ブルーライドの開催（6/3、全国 24 都道府県 343 人参加）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会関係者（事務局、市町村、観光協会等、県）のパートナーシップの強化 ⇒理事会や観光担当者会で仁淀川地域観光振興計画の方向性の確認や実践に向けた協議を実施 ⇒「仁淀ブルーDM0」観光戦略案ワーキンググループを開催し、官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図る仕組みを構築するとともに戦略推進の P D C A サイクルを実施</li> <li>・仁淀川地域観光関係者の協議会パートナーとしての連携意識醸成及び自主財源の確保 ⇒仁淀川地域観光に携わる人材の育成 ⇒市町村、観光協会と連携して仁淀川地域の観光施設、宿泊施設、食事施設等の事業者を訪問し、協議会活動への賛同者の獲得及び賛助会費の確保 ⇒仁淀川地域のお土産品や特産品の開発・販売</li> </ul>
<p>■No. 27 観光交流施設の整備・運営による新居地区の活性化（土佐市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐市</li> <li>・特定非営利活動法人新居を元気にする会 など</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○施設来客者数 H27実績：0人 → H29目標：9万人（実績：13万人） → H30目標：15万人 → H31目標：12万人</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○施設来客数(9月末見込)：75,818人（前年同期比 115%）</li> <li>・直販所レジ通過者数（9月末見込）：21,476人 （前年同期比 98.3%）</li> <li>・直販所売上高（9月末見込）：17,700千円 （前年同期比 100.5%）</li> <li>・飲食店レジ通過数(9月末見込)：13,626人 （前年同期 97.1%）</li> </ul>

	<p>・飲食店売上高（9月末見込）：13,070千円  （前年同期比99.2%）</p> <p>○イベントの実施（2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本風景写真協会写真展（4/1～5/5）</li> <li>・スイカメロンフェア（6/10）</li> </ul> <p>○テナント間の連携事業実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごちゃ南風フェス 2018 春(2周年イベント)  (4/28～4/30)</li> </ul> <p>○施設PRの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新居緑地公園フォトコンテストの実施</li> </ul> <p>○直販所の集出荷を強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HP(南風・土佐市役所)での出荷者募集、募集チラシ配布、出張集荷等を実施</li> </ul> <p>○新居緑地公園リニューアルオープン(6/6)による新規ファミリー層の呼び込み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直販所：駄菓子類の提供  公園へのアイスクリン・かき氷の出張販売</li> <li>・飲食店：スイーツ類のPR</li> <li>・かき小屋：ゴムプールの設置</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流人口を増加させるための仕組みづくり  ⇒観光案内、情報発信の強化  ⇒(一社)仁淀ブルー観光協議会と連携したツアー客の受入や観光商品づくり  ⇒観光体験メニュー(カヤック、BBQ、サイクルオアシス等)の提供  ⇒施設の認知度向上及び集客のためのイベント企画・開催(3テナントが連携したイベント等)  ⇒高知新港に寄港する客船の乗客誘致(出展・出張レンタサイクルなど)</li> <li>・観光交流施設「南風」(直販所・カフェ)の安定的な運営及び来客者等のニーズに合ったサービス・事業の展開</li> </ul>
<p>■No. 28 土佐市における体験型観光と食観光の推進（土佐市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐市</li> <li>・土佐市商工会</li> <li>・宇佐ホエールウォッチング協会</li> <li>・地域づくり団体</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○体験型・食観光の入込客数</p> <p>H26 実績：約2,500人</p> <p>→ H29目標：3,400人（実績：2,877人）</p> <p>→ H30目標：4,000人 → H31目標：6,000人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○体験型・食観光の入込客数（9月末見込）  ：2,524人（前年同期比 約92.9%）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPによる予約受付、予約状況の提供</li> <li>・Facebookによるクジラ、イルカとの遭遇結果の情報共有</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホエールウォッチングのさらなる誘客に向けた体制整備 ⇒船体、トイレの改装 ⇒荒天時の代替メニューの検討</li> <li>・担い手の確保 ⇒地域おこし協力隊をホエールウォッチングへ期間的に従事させるべく募集</li> <li>・塚地峠の体験メニュー化 ⇒ガイドグループの磨き上げ</li> </ul>
<p>■No. 29 酔鯨酒造株式会社新工場を核とした体験型観光等の推進による地域活性化 (土佐市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐市</li> <li>・酔鯨酒造株式会社</li> </ul>	<p><b>[目標 (H31) ]</b></p> <p>○施設来客者数 (H29 新規 A P) H28実績 : 0人→H29目標 : - (実績 : -) → H30目標 : 500人 → H31目標 : 2,000人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・醸造棟施設の整備 (H30.9月上旬完了予定) ・平成30年11月酒造見学体験開始予定</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験メニューづくり ⇒多様な関係者との協議の場づくり、メニューの洗い出し等</li> <li>・観光客の受入体制の構築 ⇒受入に必要なサービスや施設等の検討、仮見学スペース・フリースペース(ESLガーデン)の活用方法の検討</li> <li>・誘客の促進 ⇒誘客計画の作成</li> <li>・商品開発 ⇒土佐市の水・米を使った新酒開発の検討</li> </ul>
<p>■NO. 31 いの町本川地区での山岳観光の推進 (いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いの町</li> <li>・いの町観光協会</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○道の駅木の香温泉・山荘しらさの利用者数 H26 実績 : 55,482人 → H29 目標 : 54,000人 (実績 : 51,907人) → H30 目標 : 55,500人 → H31 目標 : 57,000人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○道の駅木の香温泉・山荘しらさの利用者数(7月末) : 17,652人 (前年同期比 92.2%)</p> <p>○イベントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石鎚山系元気ウォーキング大会 (5/20、616名参加)</li> <li>・UF0ラインを活用したサイクリングイベント UF0ラインアタックを実施 (7/22、129名参加)</li> </ul>

	<p>○ガイドの養成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県地域の頑張る人づくり事業費補助金を活用したいの町山の案内人講座の開講(全10回)</li> <li>町内の7名が参加(5/18, 5/31, 6/12, 6/16, 7/12)</li> </ul> <p>○観光振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本川と吾北での山岳地域での観光について、アドバイザーと関係者で協議を実施</li> <li>・旅行会社によるUF0ラインを活用したツアーの開催</li> </ul> <p>○石鎚山系連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行会社向けモニターツアーの開催(5/13, 14)</li> <li>・石鎚山系エリアへの観光客誘客事業補助金の取扱開始</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山岳観光の新たな旅行商品の開発とPR ⇒山の案内人や登山靴などのレンタル商品を活用した旅行会社との商談会に参加し旅行者のニーズを取り入れた商品開発</li> <li>・山荘しらさの耐震・改修に向けた準備による休業 ⇒指定管理料など収支を含んだ運営管理方法の検討</li> </ul>
<p>■No. 32 仁淀川町での観光情報の発信強化と受入体制の充実(仁淀川町)</p> <p>≪事業主体≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仁淀川町観光協会</li> <li>・仁淀川町</li> <li>・仁淀川町内の地域づくり団体</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○主要観光施設入込数(4施設、4観光資源)</p> <p>(施設:ゆの森、しもなの郷、宝来荘、秋葉の宿)</p> <p>(観光資源:中津溪谷、安居溪谷、桜及び花桃、秋葉まつり)</p> <p>H26実績:70,189人</p> <p>→H29目標:72,300人(実績:79,152人)</p> <p>→H30目標:73,000人 →H31目標:73,700人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○主要観光施設入込数(7月末):41,467人</p> <p>(前年同期比105%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光ガイド養成講座の実施に向けた関係者協議(6/5)</li> <li>・観光ガイド養成講座の実施(7/20)</li> <li>・定例会として観光報告会を開催(月1回)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要観光スポットにおける受入体制の充実による県外観光客の誘致 ⇒観光ガイド養成講座による既存ガイドのスキルアップ</li> <li>⇒地域としておもてなし観光を進めていくための仕組みづくり(新たなガイド養成等)を検討</li> <li>⇒各観光拠点と連携した町内マップの作成など情報発信の強化を検討</li> </ul>

<p>■No. 33 歴史と文教を活かしたまちづくりによる観光の推進（佐川町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐川町</li> <li>・さかわ観光協会</li> <li>・佐川町内の地域づくり団体</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○上町地区への入込客数 H26実績：15,000人 → H29目標：22,500人（実績：27,279人） → H30目標：23,750人 → H31目標：25,000人</p> <p>○上町まち歩きガイド利用者数 H26実績：4,585人 → H29目標：4,200人（実績：5,089人） → H30目標：4,600人 → H31目標：5,000人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○上町地区への入込客数（7月末）：10,149人 (前年同期比 104%)</p> <p>○上町まち歩きガイド利用者数（7月末）：1,669人 (前年同期比 101%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青山文庫入館者数（7月末）：2,028人（前年同期比 66%）</li> <li>・青山文庫企画展「志士たちの遺墨Ⅴ」の開催（6/2～8/26）</li> <li>・青山文庫特別展「明治維新と佐川」の開催（9/1～11/25）</li> <li>・歴まち協議会事務局会の開催：3回</li> <li>・くろがねの会英語自主研修（毎週）</li> <li>・佐川町体験型博覧会開催に向けた体験事業者説明会の開催（9/10 予定）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さらなる誘客に向けたおもてなしの体制づくり ⇒青山文庫をはじめとした歴史資源の活用及び周遊コースの仕掛け、体験プログラムや新たな観光施設の検討等によるクラスターのさらなる推進</li> </ul>
<p>■No. 34 越知町の総合的な観光振興と地場産品の販売促進（越知町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・越知町観光協会</li> <li>・おち駅物販経営協議会</li> <li>・JA コスモス</li> <li>・越知町 など</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○おち駅での販売額 H26実績：65,567千円 → H29目標：1.25億円（29実績：1.12億円） → H30目標：1.1億円 → H31目標：100,000千円</p> <p>○観光ガイドの養成数 H26実績：6人 → H29目標：8人（実績：16人） → H30目標：9人 → H31目標：10人</p> <p>○カヌー・ラフティング利用者数 H27実績：2,288人 → H29目標：2,300人（実績：1,695人） → H30目標：2,300人 → H31目標：2,500人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○おち駅での販売額（4～7月）：30,063千円 (前年同期比 73.4%)</p>

	<p>○観光ガイドの養成数（7月）：16人</p> <p>○カヌー・ラフティング利用者数（4～7月）：528人 （前年同期比91.2%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おち駅物販経営協議会・総会（4回）</li> <li>・おち駅による、スノーピークキャンプ場利用者に向けたバーベキューセットの販売開始（8月～）</li> <li>・カヌー、ラフティング開始（カヌー：4/28～、ラフティング：4/28～）</li> <li>・松山街道のガイドツアー等に関する打ち合わせ（6/5、6/13、7/12）</li> </ul> <p>○横倉山トレッキングツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モニターツアー実施（4/14）</li> <li>・パンフレット完成（4/21）</li> <li>・予約受付開始（4/23）</li> <li>・ふれあい高新にてツアー実施（7/18）</li> <li>・龍馬パスポートへの参加予定（9月～）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>体験型観光の利用者数増加 ⇒PRの強化及び実施に向けた支援 おち駅の販売強化 ⇒広報手段や設備更新の検討</p>
<p>■No. 35 体験型観光の拠点となるキャンプ場の整備による交流人口の拡大と地域の活性化（越知町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・越知町</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○キャンプ場宿泊者数 H29実績：0人→H30目標：4,900人→H31目標：5,400人</li> <li>○宮の前公園センターハウスレジ通過者数 H31目標：42,000人</li> </ul> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○キャンプ場宿泊者数（4～7月）：2,476人</li> <li>○スノーピーク監修のアウトドア施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日ノ瀬清流公園キャンプ場 <ul style="list-style-type: none"> <li>↳オープン（4/22）</li> <li>↳宿泊棟：工事完了（5/1）</li> </ul> </li> <li>・宮の前公園センターハウス <ul style="list-style-type: none"> <li>↳建築工事 入札（5/28）、契約議決（6/12）</li> </ul> </li> <li>・宮の前公園センターハウス物販に関する検討・準備 <ul style="list-style-type: none"> <li>↳役場・スノーピークとの協議（4回）</li> <li>↳卸業者や他の直販市への訪問・聞き取り（2回）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○日ノ瀬清流公園キャンプ場の活用促進及び経済波及 <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内事業者によるキャンプ場イベント広場での出店</li> <li>・キャンプ場利用者の町内での食材等購入や周遊促進に向けた関係者協議</li> </ul> </li> </ul>

	<p>○日ノ瀬清流公園キャンプ場の通信環境の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯電話各社への早期の電波環境改善要望（6月） <ul style="list-style-type: none"> <li>↳各社とも現状をふまえた可能な対応を検討調整中</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H31.4月の宮の前公園センターハウスオープンに向けた事業進捗 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒役場との情報共有及び進捗管理の確認</li> <li>⇒流域物販に向けた事業者との調整</li> </ul> </li> <li>・日ノ瀬清流公園キャンプ場の活用促進及び経済波及 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒町内事業者や商工会など関係団体との連携支援</li> </ul> </li> <li>・日ノ瀬清流公園キャンプ場の通信環境の改善 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒携帯電話会社との継続協議</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No. 36 「屋形船仁淀川」を核とした交流人口の拡大と地域の活性化（日高村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日高村</li> <li>・(株)屋形船仁淀川</li> </ul>	<p><b>[目標]</b></p> <p>○乗船者数</p> <p>H26実績：3,261人</p> <p>→ H29目標：6,000人（実績：6,071人）</p> <p>→ H30目標：6,000人 → H31目標：4,500人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>○乗船者数（9月末見込）：3,978人（前年同期比98%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイド付き乗船者数（9月末見込） <ul style="list-style-type: none"> <li>：407人（前年同期比200%）</li> </ul> </li> <li>・ガイド人数（9月末見込）：6人</li> <li>・ホームページリニューアル（外国語対応）の検討</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客の受入体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒遊覧ガイド募集のチラシを配布 <ul style="list-style-type: none"> <li>ケイビングガイド2人が乗船して遊覧ガイドの勉強をする予定</li> </ul> </li> <li>⇒（一社）仁淀ブルー観光協議会との連携強化</li> <li>⇒体験交流スペースや飲食コーナーを有する宿泊施設（地方創生拠点整備交付金及び集落活動センター推進事業費補助金の活用を検討中）、売店など観光拠点としての整備を検討</li> <li>⇒雨天時や冬期の体験メニューの企画・試行</li> </ul> </li> </ul>



## 2 平成 30 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<b>■No. 8 本川きじの販路拡大（いの町）</b> ※ステップアップ事業 8/20 交付決定	知名度向上・販路拡大に向けたホームページ改修・新たな営業ツールの製作・県内外でのイベント出店・営業活動などの実施	1,885 (872)
<b>■No. 10 日高村まるごとブランド化（日高村）</b> ※ステップアップ事業 8/20 交付決定	特産品であるトマトを活かした村づくりの推進を目指すための日高まるごとイタリアンプロジェクト実施計画の策定	2,021 (1,010)

## 3 地域アクションプランの追加、修正、削除（予定）項目

[修正] AP8：本川きじの販路拡大

（理由）安定した生産体制の確保のため、衛生管理向上と生産能力拡大に向けた施設改修を計画的に行う。

[修正] AP18：いの町中心市街地の活性化

（理由）中心市街地活性化事業の進捗状況に併せ修正を行うと共に、取組内容の整理を行う。

[修正] AP31：いの町本川地区での山岳観光の推進

（理由）観光施設と連携した体験型観光の推進と施設整備のため、当初年次計画の遅れに伴い今後の計画に沿った見直しを行う。

## 4 県民参画に向けた取組

- ・日高村商工会総会で第3期計画 ver. 3 の説明(5/23)
- ・いの町商工会総会で第3期計画 ver. 3 の説明(5/24)
- ・土佐市商工会総会で第3期計画 ver. 3 の説明(5/25)
- ・いの町観光協会総会で第3期計画 ver. 3 の説明(5/29)
- ・第1回開かれた学校づくり推進委員会(伊野商業高等学校)で第3期計画 ver. 3 の説明(7/19)

## 5 相談案件：5 件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/18	産業	未来投資型交付金の活用について
2	4/19	農業	地域農業を地域活性化につなげる取組について
3	5/17	農業	文旦農家の起業について
4	5/21	商業	商業施設の移転先について
5	6/15	農業	茶の実オイルを活用した地域活性化への支援について

修正項目(案)



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
8 本川きじの販路拡大 《いの町》	いの町本川地区の特産品である「本川きじ」の販路の拡大と顧客ニーズに対応した商品の開発に取り組み、中山間地域の基幹産業として定着させる。	・本川手箱きじ生産企業組合 ・いの町	アクションプランの取組開始:H21 ・生産体制の強化(H21~26) ◆生産設備(貯卵庫、脱毛器、液体型急速冷凍機)の整備(H26)により増産体制を確立した。 ◆本川手箱きじ生産企業組合を設立(H26.12.5)し、経営組織を強化した。  ・「きじ鍋セット」など首都圏百貨店でインターネット販売を開始(H24) ・通年商品として新商品「きじ重」を開発し、高知市内の料理店でメニュー化、村の駅ひだか、ドラゴン広場、レストパークいのでの販売を開始(H26~) ◆メディアに取り上げられたことで認知度が高まり、販売先も増やしたことで売上アップにつながった。 ・HACCP第2ステージ取得(H29)	・販路拡大(県内の知名度アップ、首都圏・関西圏) ・大口の販売先の確保 ・需要に対応した安定的な生産体制	◆営業力の強化による販路拡大  ◆安定した生産体制の確保
修正前					

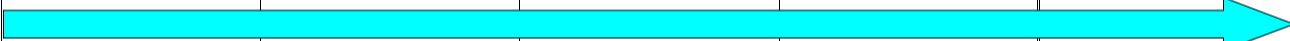




【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
8 本川きじの販路拡大 《いの町》	いの町本川地区の特産品である「本川きじ」の販路の拡大と顧客ニーズに対応した商品の開発に取り組み、中山間地域の基幹産業として定着させる。	・本川手箱きじ生産企業組合 ・いの町	アクションプランの取組開始:H21 ・生産体制の強化(H21~26) ◆生産設備(貯卵庫、脱毛器、液体型急速冷凍機)の整備(H26)により増産体制を確立した。 ◆本川手箱きじ生産企業組合を設立(H26.12.5)し、経営組織を強化した。  ・「きじ鍋セット」など首都圏百貨店でインターネット販売を開始(H24) ・通年商品として新商品「きじ重」を開発し、高知市内の料理店でメニュー化、村の駅ひだか、ドラゴン広場、レストパークいのでの販売を開始(H26~) ◆メディアに取り上げられたことで認知度が高まり、販売先も増やしたことで売上アップにつながった。  ・HACCP第2ステージ取得(H29) ・経営計画の策定(H29)	・販路拡大(県内の知名度アップ、首都圏・関西圏) ・大口の販売先の確保 ・需要に対応した安定的な生産体制	◆営業力の強化による販路拡大  ◆安定した生産体制の確保  ◆衛生管理向上と生産能力拡大に向けた施設改修
修正後					

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
営業力の強化による販路拡大						<b>販売額</b> (H25: 7,444千円)(H26: 4,913千円)	13,580千円
既存商品のブラッシュアップ	新商品の開発・販売						
各種イベントでのPR、商談会等への出展							
サンプル送付先への後追い営業などによる新規取引先の開拓							
インターネットを活用した販売							
県版HACCP(第2ステージ)の	県版HACCP(第3ステージ)又は国際基準HACCP取得に向けた検討・取得						
安定した生産体制の確保							
生産、販売、経営状況を検討する定例会の開催							
安定した飼養技術による品質の向上及び生産量の拡大							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
営業力の強化による販路拡大						<b>販売額</b> (H25: 7,444千円)(H26: 4,913千円)	18,600千円
既存商品のブラッシュアップ	新商品の開発・販売						
各種イベントでのPR、商談会等への出展							
サンプル送付先への後追い営業などによる新規取引先の開拓							
インターネットを活用した販売							
県版HACCP(第2ステージ)の取得	県版HACCP(第3ステージ)又は国際基準HACCP取得に向けた検討・取得						
安定した生産体制の確保							
生産、販売、経営状況を検討する定例会の開催							
安定した飼養技術による品質の向上及び生産量の拡大							
							
衛生管理向上と生産能力拡大に向けた施設改修							
施設整備に向けた関係者協議、基本設計・実施設計・施設改修							

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>18 いの町中心市街地の活性化 《いの町》</p> <p>※地域産業クラスター関連(いの町生養生産・販売拡大プロジェクト)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正前</div>	<p>いの町中心市街地の空き店舗・旧町屋・倉庫等を有効活用して、街の活力を高めるとともに、「紙の町をお金にする」「まちなかを元気にする」をキーワードとして商店街の各店舗の魅力を高め、新たな開業を促進する。</p>	<p>・いの町 ・いの町商工会</p>	<p>アクションプランの取組開始:H24 ・イベント「[い]よどがわ七色ロード」の実施(H24~25) ・暮らしのかけ橋交流館「なないろ」開設(H24.12月) ・小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業(全国商工会連合会)を導入し、中心市街地の活性化プランを策定(H25) ・商工会、観光協会、紙の博物館、手すき和紙職人、製紙会社、生産農家、飲食店等の実践者による協議を経て、「紙」、「職人」、「食」、「仁淀川」の4つをテーマにそれぞれの部会で商品開発やイベント企画を行い、「紙のまち博覧会」を開催(H26) ・いの町商店街を含む町内の飲食店(21店舗)による「~いのは生妻やき~なないろ生妻焼き街道スタンプラリー」を開催(H26~28) ・いの町商工会による空き店舗活用への家賃補助(2年間家賃の半額補助。上限5万円)をH27.4月から開始。2店舗が事業を活用して開業。(H27) ・「紙のまち博覧会」の後継事業を行う実行委員会「いの通信局」を立ち上げ、大国さまの大祭に合わせ紙、職人、食をPRする「Kami祭」を開催(H27~29) ・いの町全域で空き店舗、空き家調査を実施(H27) ・産業競争力強化法に基づき、いの町が関係団体と連携して行う、新規創業者に対する支援計画を策定した。経済産業省が認定する見込み(H28.1月) ◆全国展開支援事業の取組を通じて事業者等の商品づくり、営業等への意欲向上及び商工会や観光協会等の関係者間の連携強化につながった。また、商店街の注目度が上がり、新規開店、店舗の改装、移転など新たな展開を行う事業者が現れるとともに、空き店舗に関する問い合わせも増え、活気が出てきつつある。 ・産業振興アドバイザー事業の活用により移住促進情報サイト「ハッピーいの町ターン」をリニューアル(H28) ◆移住促進にとどまらず住民のための総合情報サイトとしても機能強化された。 ・いの町中心市街地再構築検討委員会を立ち上げ、いの町中心市街地再構築プランを策定(H28) ・いの町中心市街地活性化プランの実現に向けた事業計画のブラッシュアップ、関係者での協議(H29)</p>	<p>・商店街の店舗が一体となって取り組んでいくという意識醸成 ・商店街の活性化イベントを継続させていくための組織体制づくり ・空き店舗の活用</p>	<p>◆中心市街地の連携強化</p> <p>◆「いの通信局」によるイベント等の定着</p> <p>◆町内への開業の誘致</p>



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
中心市街地の連携強化					中心市街地での事業所の新規開業 (H26:2事業所)	8事業所(H28～31累計)	
暮らしのかけ橋交流館「なないろ」の運営・体制の見直し	情報発信等の機能強化						
「いの生姜焼き街道」の推進							
生姜スイーツ開発・販売、PR活動							
「いの通信局」によるイベント等の定着					「いの通信局」による事業所の新規開業 (H26:2事業所)	8事業所(H28～31累計)	
定期的な「いの通信局」各部会の開催							
「いの通信局」によるKami祭等のイベント開催							
町内への開業の誘致					中心市街地での事業所の新規開業 (H26:2事業所)	8事業所(H28～31累計)	
空き店舗の賃貸、売却に関する意向調査を実施	顧客ニーズに合った店舗の誘致						
創業、移住及び補助制度等に関する情報発信及びワンストップ窓口(いの町産業経済課)対応							
空き店舗活用への家賃補助事業の実施							
町内に工場や店舗を新設等する事業者に対する奨励金(新設等した店舗や工場等に係る固定資産税相当額)による支援							
中心市街地での開業者及び個店経営者の経営支援							
いの町中心市街地再構築プランの策定	いの町中心市街地再構築プランに基づく施設整備・運営の検討						



修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>18 いの町中心市街地の活性化 《いの町》</p> <p>※地域産業クラスター関連(いの町生業生産・販売拡大プロジェクト)</p> <p style="text-align: center; background-color: black; color: white; padding: 5px;">修正後</p>	<p>いの町中心市街地の空き店舗・旧町屋・倉庫等を有効活用して、街の活力を高めるとともに、「紙の町をお金にする」「まちなかを元気にする」をキーワードとして商店街の各店舗の魅力を高め、新たな開業を促進する。</p>	<p>・いの町 ・いの町商工会</p>	<p>アクションプランの取組開始:H24 ・暮らしのかけ橋交流館「なないろ」開設(H24～H29) ・全国展開支援事業を活用し、中心市街地活性化プラン策定(H25) ・紙、職人、食、仁淀川の各部会で商品開発やイベント企画実施。「紙のまち博覧会」を開催(H26) ・生姜焼き街道スタンプラリー開催(H26:21店舗～) ・空き店舗家賃補助制度開始(商工会・H27～) ・実行委員会「いの通信局」を立ち上げ、紙、職人、食をPRする「Kami祭」開催(H27～) ・いの町全域で空き店舗、空き家調査実施(H27) ・いの町が産業競争力強化法に基づき、創業支援事業計画を策定(H28～) ◆事業者等の商品開発・営業等への意欲向上、関係者間の連携強化に繋がる。商店街への新規開店等新たな動きが出るとともに、空き店舗への問合わせも増え、活気が出てきつつある。  ・産業振興アドバイザー事業を活用し移住促進情報サイト「ハッピーいの町ターン」リニューアル(H28) ◆総合情報サイトとしても機能強化された。  ・いの町中心市街地再構築検討委員会を立ち上げ、いの町中心市街地再構築プラン策定(H28) ・いの町中心市街地活性化プランの実現に向けた事業計画のブラッシュアップ、関係者での協議(H29) ・中心市街地活性化協議会の設立(H30)</p>	<p>・商店街の店舗が一体となって取り組んでいくという意識醸成 ・商店街の活性化イベントを継続させていくための組織体制づくり ・空き店舗の活用</p>	<p>◆中心市街地の連携強化</p> <p>◆「いの通信局」によるイベント等の定着</p> <p>◆町内への開業の誘致</p>

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
<p>中心市街地の連携強化</p> <p>暮らしのかけ橋交流館「ならない」の運営・体制の見直し</p> <p>情報発信等の機能強化</p> <p>「いの生姜焼き街道」の推進</p> <p>生姜スイーツ開発・販売、PR活動</p>					<p>中心市街地での事業所の新規開業 (H26:2事業所)</p>	<p>8事業所(H28～31累計)</p>	
<p>「いの通信局」によるイベント等の定着</p> <p>定期的な「いの通信局」各部会の開催</p> <p>「いの通信局」によるKamij祭等のイベント開催</p>							
<p>町内への開業の誘致</p> <p>空き店舗の賃貸、売却に関する意向調査を実施</p> <p>顧客ニーズに合った店舗の誘致</p> <p>創業、移住及び補助制度等に関する情報発信及びワンストップ窓口(いの町産業経済課)対応</p> <p>空き店舗活用への家賃補助事業の実施</p> <p>町内に工場や店舗を新設等する事業者に対する奨励金(新設等した店舗や工場等に係る固定資産税相当額)による支援</p> <p>中心市街地での開業者及び個店経営者の経営支援</p>							
<p>いの町中心市街地再構築プランの策定</p>	<p>いの町中心市街地再構築プランに基づく施設整備・運営の検討</p>	<p>中心市街地活性化協議会設立及び中心市街地活性化計画策定</p>	<p>中心市街地活性化計画に基づく施策の実施</p>				

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
31 いの町本川地区での山岳観光の推進 《いの町》	木の香温泉や山荘しらすを拠点とし、他の観光施設や民間企業と連携して、UFOラインと呼ばれる石鎚山系の景観や山岳資源を生かした体験メニューを観光客や山歩き愛好者に提供することで、交流人口の拡大を図る。	・いの町 ・いの町観光協会	アクションプランの取組開始:H21<体験メニュー等の開発> ・産振アドバイザー事業を活用して冬期のフィールドを活用するためのモニターツアーの開催、観光商品化、本川地区の未使用観光施設の活用方法等の協議(H26) ・UFOラインウォーキングと東黒森ハイキングツアーを城西館が商品化(H26) ◆城西館による商品化に伴い地元女性グループによる「あけぼの弁当」の売上増につながった。また、冬山体験イベント「本川スノーパーク」を開催(H27.2月)し好評であったため、継続開催が決定している。 ・ガイド組織を設立(H29)	・道の駅木の香や山荘しらすの施設整備 ・体験メニューの商品化に向けた資源の掘り起こしと販売先のリサーチ	◆観光施設(道の駅木の香温泉、山荘しらす)と連携した体験型観光の推進と施設の整備  ◆新たな資源を活用した体験メニューの検討と商品化

修正前



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
31 いの町本川地区での山岳観光の推進 《いの町》	木の香温泉や山荘しらすを拠点とし、他の観光施設や民間企業と連携して、UFOラインと呼ばれる石鎚山系の景観や山岳資源を生かした体験メニューを観光客や山歩き愛好者に提供することで、交流人口の拡大を図る。	・いの町 ・いの町観光協会	アクションプランの取組開始:H21<体験メニュー等の開発> ・産振アドバイザー事業を活用して冬期のフィールドを活用するためのモニターツアーの開催、観光商品化、本川地区の未使用観光施設の活用方法等の協議(H26) ・UFOラインウォーキングと東黒森ハイキングツアーを城西館が商品化(H26) ◆城西館による商品化に伴い地元女性グループによる「あけぼの弁当」の売上増につながった。また、冬山体験イベント「本川スノーパーク」を開催(H27.2月)し好評であったため、継続開催が決定している。 ・ガイド組織を設立(H29)	・道の駅木の香や山荘しらすの施設整備 ・体験メニューの商品化に向けた資源の掘り起こしと販売先のリサーチ	◆観光施設(道の駅木の香温泉、山荘しらす)と連携した体験型観光の推進と施設の整備  ◆新たな資源を活用した体験メニューの検討と商品化

修正後



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
観光施設(道の駅木の香温泉、山荘しらす)と連携した体験型観光の推進と施設の整備					道の駅木の香温泉・山荘しらすの利用者数 (H26: 55,482人)	57,000人	
木の香温泉及び山荘しらすを拠点とした体験観光の旅行商品化に向けた検討		木の香温泉及び山荘しらすを拠点とした体験観光の旅行商品化					
		一般社団法人仁淀ブルー観光協議会との連携による旅行商品企画及び旅行会社等へのセールス					
木の香温泉及び山荘しらすの観光情報発信拠点化(ビジターセンター等)の検討・整備、観光情報発信・PR							
木の香温泉内の宿泊施設(寒風荘)の取り壊し	駐車場の拡充・整備						
山荘しらすの耐震工事実施設計		山荘しらすの整備					
新たな資源を活用した体験メニューの検討と商品化							
新たな体験メニューの商品化に向けた観光資源の掘り起こし							
新たな体験メニューの検討	体験メニューの試行	体験メニューのブラッシュアップ及び売り込み					
山岳ガイド組織の設立	山岳ガイドの養成・ガイド実践						
インターネット等を活用したPR・情報発信							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
観光施設(道の駅木の香温泉、山荘しらす)と連携した体験型観光の推進と施設の整備					道の駅木の香温泉・山荘しらすの利用者数 (H26: 55,482人)	57,000人	
木の香温泉及び山荘しらすを拠点とした体験観光の旅行商品化に向けた検討		木の香温泉及び山荘しらすを拠点とした体験観光の旅行商品化					
		一般社団法人仁淀ブルー観光協議会との連携による旅行商品企画及び旅行会社等へのセールス					
木の香温泉及び山荘しらすの観光情報発信拠点化(ビジターセンター等)の検討・整備、観光情報発信・PR							
木の香温泉内の宿泊施設(寒風荘)の取り壊し	木の香温泉の駐車場の拡充・整備						
	山荘しらすの整備の検討	山荘しらすの耐震工事実施設計	山荘しらすの整備				
新たな資源を活用した体験メニューの検討と商品化							
新たな体験メニューの商品化に向けた観光資源の掘り起こし							
新たな体験メニューの検討	体験メニューの試行	体験メニューのブラッシュアップ及び売り込み					
山岳ガイド組織の設立	山岳ガイドの養成・ガイド実践						
インターネット等を活用したPR・情報発信							